

学校関係者評価の結果

新居浜市立角野中学校

第4回角野校区学校運営協議会において、保護者の評価、生徒アンケート、教職員の評価とそれらの考察について説明を行い、委員から以下のような意見を得た。

- 「学校と地域が協働して行っている活動は、子ども・学校・地域にとって有益であると思うか」に対して、生徒、保護者、教員ともに90%以上が肯定的に捉えている。大変ありがたい。将来ある子どもたちを、今後も地域全体で見守りたい。
- 角野校区の人たちには角野への誇りがある。学校ではできないさまざまな体験ができる環境を、今後も大切に、角野を愛する心を育てていきたい。
- 「学校行事は、充実した活動になっていると思うか」に対して、昨年度より肯定的に捉える保護者が20%も増えているが、角野中学校卒業の保護者の立場から見ると、やはり自分たちが経験したような学校行事を子どもたちにも体験させたい気持ちがある。コロナ禍での安全面を考えつつ、来年度からは行事も充実させてくれたらと思う。
- D判定(そう思わない)という意見を取りこぼすことなく、改善に努めてほしい。
- 「生徒は挨拶がよくできているか」「生徒は学校や社会のルールが守れているか」について、教員の評価が厳しいと思った。朝の登校見守りなどでは、小学生も中学生もとても良い挨拶ができていると感じる。
→ 教員は、一日生徒を見ているため、「もっと力がある。」「もっとできる。」と期待してしまうところはある。できていないところは引き出し、良い面を認め、自信をつけさせていきたい。
- 小中で共通の質問項目を設けてはどうか。成長や変容がより分かりやすくなると思う。
- 全体的に肯定的意見が多く、安心だが、C判定(あまりそう思わない)やD判定(そう思わない)の意見も大切に、教員、保護者、生徒が共に努力して改善に努めてほしい。

アンケート結果は全体的に肯定的に捉えている人が多く、学校運営協議会の委員の方からも前向きなご意見をいただいた。保護者の中には、厳しく評価をしてくださった方もいる。しかし、PTA等の活動では常に、学校への協力を惜しまず、地域をあげて学校を後押ししてくださっている。今回の貴重な意見を生かし、児童・生徒の健やかな成長のための教育を、今後も実践していきたいと考えている。